

翻訳Q&A

だれにもきけなかった
翻訳に関する疑問が
すっきり解消します



禁無断転載

Copyright ©2008 Printed in Japan
TECHNICAL WRITERS UNION

ISBN 978-4-925002-07-3

翻訳Q&A

1. 翻訳学習のコツ	6	35. 簡潔・明快な表現	25
2. 翻訳のコツ	6	36. eachの用法	25
3. 中黒（・）の使い方（カタカナ表示）	7	37. in the marketとon the marketの違い	26
4. カタカナの使い方 (1)	7	38. due to、thanks to、owing toの 使い分け	26
5. カタカナの使い方 (2)	8	39. 「当社」の訳し方（英訳）	27
6. ビジネスライティングでは"Iか"We"の どちらを使うべきですか。	8	40. e-mailに関する表現	27
7. 「当社」の訳し方 (1)	9	41. 主語のない日本語の訳し方	28
8. 「当社」の訳し方 (2)	9	42. therefore、thus、so、consequently、 subsequently、as a result、next、 thenの違い	28
9. 「当社製品」の訳し方	10	43. primary importanceとvery important の違い	29
10. aの特殊な使い方	10	44. minimalとminimumの使い分け	29
11. 定冠詞theの使い方 (1)	11	45. not thatの用法	30
12. 定冠詞theの使い方 (2)	11	46. 位置関係の表現法（倒置）	30
13. 冠詞の使い方と参考書 (3)	12	47. よいEnglishとは (1)	31
14. 冠詞の使い方と英文参考書 (4)	13	48. よいEnglishとは (2)	31
15. 冠詞の使い方 (5)	14	49.. 「直後」の訳し方	32
16. 冠詞の使い方 (6)	14	50. 「不正使用」の訳し方	32
17. theの訳し方（和訳） (7)	15	51. afterの正しい使い方	33
18. theの訳し方（和訳） (8)	15	52. 奇数頁と偶数頁の訳し方	33
19. theの訳し方（和訳） (9)	16	53. a major accountの意味	34
20. 冠詞の使い方 (10)	17	54. operableの使い方	34
21. 冠詞の使い方 (11)	17	55. 「装置が反応する」の訳し方	35
22. 冠詞の使い方 (12)	18	56. 「パスワードで保護する」の訳し方	35
23. 冠詞の使い方 (13)	19	57. 「A4用紙」の訳し方	36
24. 冠詞の使い方 (14)	19	58. 「～に応じて」の訳し方	36
25. 冠詞の使い方 (15)	20	59. use、utilize、exploitの使い分け	37
26. 冠詞の使い方 (16)	20	60. 英文中の副詞の位置 (1) "constantly provide"か"provide constantly"	37
27. 冠詞の使い方（最上級とthe） (17)	21	61. 文中における副詞（well）の位置 (2)	38
28. 慣用文（日本語）の英訳について	21	62. 英文中の副詞（adverb）の位置 (3)	38
29. 翻訳参考資料について	22	63. "continued operation"と"continuous	
30. 改訂や履歴の訳し方	22		
31. 肯定文と否定文の使い分け	23		
32. 「順番に」の訳し方	23		
33. 日付の表記 (1)	24		
34. 日付の表記 (2)	24		

翻訳Q&A

operation"の違い	39
64. specific、specified、required、designated、certainの使い分け	39
65. can、possible、enableの使い分け	40
66. applyとvalidの使い分け	40
67. we can say that...とit can be said that...の違い	41
68. in fact、virtually、actuallyの使い分け	41
69. such asとlikeの使い分け	42
70. 「このように」の訳し方	42
71. which isの省略について	43
72. needとnecessaryについて	43
73. 「略して・・・と呼ぶ」の訳し方	44
74. 「すんなり」の訳し方	44
75. 「～しにくい」の訳し方	45
76. 「～以上」の訳し方	45
77. 翻訳参考資料の集め方	46
78. processとprocessingの使い分け	46
79. categorize intoとclassify intoの使い分け	47
80. 「利用度が高い」の訳し方	48
81. 「人」の訳し方	48
82. 「技術確立」の訳し方	49
83. manpowerの用例	49
84. 「許容範囲が広い」の訳し方	50
85. 「この機械は～という特長を持つ」の訳し方	50
86. 「間隔」の訳し方	51
87. 「人・月」の訳し方	51
88. workforceの用法	52
89. 「懸念」の訳し方	52
90. アポストロフィーを使った略語	53
91. 「リストの作成」の訳	53
92. 「図面を書く」の訳し方	54
93. 「XXがきちんとセットされていない」	

の訳し方	54
94. 「(押さえていた) ボタンを離す」の訳し方	55
95. 「パスワード画面がXXXの入力を要求する」の訳し方	55
96. 「はじめて有効となる」の訳し方	56
97. 「いったん元に戻す」の訳し方	56
98. 「一度に～する」の訳し方	57
99. off-lineの用法	57
100. 「仕事を受注する」の訳	58
101. 「仕事を発注する」の訳	58
102. "more than one hour"と"not less than one hour"の違い	59
103. 期間に関するforとoverの使い分け	59
104. butとyetの使い分け	60
105. anyについて (1)	60
106. anyについて (2)	61
107. the productsとany productsの違い	61
108. 「～によって」「～を使用して」に関するby、with、by using、usingの使い分け	62
109. 外国時間の表し方	62
110. 複雑な文章を訳すコツ	63
111. 比較級 (higher) の用法	63
112. 翻訳に必要な辞書	64
113. excessivelyの用法	64
114. コピーライティングについて	65
115. ThanksとThank youの使い分け	65
116. インターネット (辞書) の活用	66
117. 和訳をする時の主語の訳し方	66
118. 手紙文における敬語の訳し方	67
119. All you need to know isの訳し方	67
120. 翻訳のコツ (1)	68
121. 翻訳のコツ (2) (主語の訳し方)	68
122. 特許翻訳の学習法	69

翻訳Q&A

123. 特許明細書の訳し方	70	154. パラレリズム（コンマの用法4）	85
124. 特許明細書の参考書	70	155. （コンマの用法5）	86
125. more and moreやless and lessの 使い方	71	156. 簡潔な英文表現（主語の省略）	86
126. 英文コピーの訳し方	71	157. コンマ（,）とセミコロン（;）の 使い分け（1）	87
127. 技術用語について	72	158. ピリオド（.）、コンマ（,）、 コロンの（:）、セミコロン（;）、 ダッシュ（-）の使い分け（2）	87
128. backsideの用法	72	159. コンマの特殊な使い方	88
129. 英文の解説	73	160. 「内部圧力が上がらないように」の 訳し方	88
130. TWU英語表現辞典を使いこなすには	73	161. 「あるいはその他多くの」の訳し方、 およびetc.とand so onの使い分け	89
131. 特殊な技術用語の訳し方	74	162. 可算名詞と不可算名詞を明らかに している辞書がありますか。	89
132. 翻訳には背景知識が必要	74	163. specification（単数形）と specifications（複数形）の違い	90
133. andの使い方	75	164. dataは単数扱いですか、 複数扱いですか。	90
134. ビジネス文書の訳し方	75	165. 名詞が単数なのか複数なのか 不明なときの英訳	91
135. 技術文書の訳し方	76	166. answerとreplyの使い分け	91
136. 「です・ます」調と「である」調の 使い分け	76	167. 「マニュアルのユーザ」の訳し方。 user（単数形）かusers（複数形）か	92
137. タイトルの訳し方	77	168. 英文における単数形と複数形の 使い分け	92
138. 英文における名詞や動詞の言い換え	77	169. numberとnumbersの使い分け	93
139. 広告コピーの文体について	78	170. 和訳時における複数形名詞の訳し方	94
140. soの使い方	78	171. 単数形と複数形のとらえ方	94
141. reputationとreputeの使い分け	79	172. 単数形と複数形の使い分け	95
142. company's growthとthe growth of the company	79	173. worksとworkの違い	95
143. 過去分詞の形容詞的用法について	80	174. a manとmanの違い	96
144. what's going onの訳し方	80	175. 技術用語の調べ方	96
145. count onの意味	81	176. operatorやoperationの訳し方	97
146. 実務翻訳に求められるもの	81	177. 技術用語の推察方法	97
147. 英文レターの訳し方（拝啓と敬具）	82	178. horsepowerとpowerの違い	98
148. a lotの用法	82	179. hydraulicの訳は、「水圧」か 「油圧」か	98
149. わかりにくい長文の訳し方のコツ	83	180. 紛らわしい動詞の訳し方	99
150. how toの用法	83		
151. howeverの使い方（コンマの用法1）	84		
152. 形容詞間をandでつなげるか、 カンマで区切るか（コンマの用法2）	84		
153. as well asの用法（コンマの用法3）	85		

翻訳Q&A

181. goal、purpose、aim、object、objectiveの使い分け	99	214. 「回数」の訳し方	116
182. objective、object、goalの使い分け	100	215. 「光の量」の訳し方	117
183. 同義語が羅列されている場合の訳し方 (1)	101	216. focusとconcentrationの使い分け	117
184. 同義語が羅列されている場合の訳し方 (2)	101	217. decide onの使い方	118
185. 英文中での数値の書き方 (1)	102	218. improvement in、improvement on、improvement ofの使い分け	118
186. 英文中での数値の書き方 (2)	102	219. uponとonの使い分け	119
187. jointの訳し方	103	220. traditionalとconventionalの使い分け	119
188. procedureの訳し方	103	221. major、chief、primaryの使い分け	120
189. ruleとstandardの使い分け	104	222. effectiveとefficientの使い分け	120
190. standard、basis、reference、datumの使い分け	104	223. unlikeの解釈	121
191. careless、error、blunderの使い分け	105	224. prematureとearlyの違い	121
192. deviceの訳し方	105	225. 契約書の訳し方	
193. testの訳し方	106	heretoとhereunderの用法	122
194. cost-efficientの訳し方	106	226. thereto、thereof、thereon、therefor、thereby、thereafter、therebetweenの用法 (1)	122
195. unitの訳し方	107	227. thereto、thereof、thereonの用法 (2)	123
196. capability、feasibility、possibilityの使い分け	107	228. hereunderの用法	123
197. guaranteeとwarrantyの使い分け (1)	108	229. whenとifの使い分け (1)	124
198. guaranteeとwarrantyの使い分け (2)	108	230. when、if、in case、in the case of、as forの使い分け (2)	124
199. 「箱の面」の訳し方	109	231. 条件文でのifとwhenの使い分け (3)	125
200. releaseとannouncementの使い分け	109	232. mustとshallの使い分け (1)	125
201. techniqueとtechnologyの使い分け (1)	110	233. may、must、should、shallの使い分け (2)	126
202. techniqueとtechnologyの使い分け (2)	110	234. mustとshouldの使い分け (3)	126
203. policyの使い方	111	235. 法律におけるshallの訳し方 (4)	127
204. ハイフンの用法	111	236. increase/decreaseとup/downの使い方	127
205. 「環境」の訳語	112	237. 「圧力の増減」の表現	128
206. plightの用法	112	238. set up、build up、establishの使い分け	128
207. 米国の訳し方	113	239. regulateとadjustの使い分け	129
208. government、nation、countryの使い分け	113	240. changes inの用法	129
209. 「各国」の訳し方	114	241. 「故障した場合」の訳し方 (failure、problem、troubleの使い分け)	130
210. ソ連の訳し方	114	242. failure、fault、malfunction、break downの使い分け	130
211. frameとscreenの使い分け	115	243. ソフトウェアに関するfault、error、	
212. window、screen、frameの使い分け	115		
213. 「高くつく」の訳し方	116		

翻訳Q&A

fail、failureの使い分け	131	276. revise、amend、changeの違い	148
244. ライフサイクルコストと ダウンタイムコストの説明	131	277. expandとinflateの使い分け	148
245. 受動態と能動態の使い分け	132	278. 技術翻訳に必要な資格	149
246. 能動態と受動態	132	279. shownやpicturedの用法	149
247. be動詞の省略	133		
248. agreeとaccordの使い分け	133		
249. let、permit、provide、offer等の 訳し方	134		
250. keep、maintain、leave、remainの 使い分け	134		
251. leading to、causing、resulting inの 用法	135		
252. 動名詞の用法	135		
253. banとprohibitの使い分け	136		
254. consist ofとcompriseの使い分け	136		
255. strategyに使う動詞	137		
256. reportに使う動詞	137		
257. 「記されている」の訳	138		
258. insulateの用法	138		
259. function、work、operatedの使い分け	139		
260. rapid、rapidlyの用法と「行う」の訳	139		
261. 「行う」に対応する動詞	140		
262. contractとretractの違い	140		
263. selectとchooseの違い	141		
264. "It is recommended to leave open the test holes"について	141		
265. パラレリズムの解説	142		
266. no matter whatの用法	143		
267. "call for"の使い方	143		
268. easeとfacilitateの使い分け	144		
269. remedyとrepairの使い分け	144		
270. 現在形、過去形と過去完了の使い分け	145		
271. protect fromとprotect against	145		
272. 紙に「記録される」場合の訳語	146		
273. cause、occur、arise、take place について	146		
274. mountとinstallの使い分け	147		
275. be packed withの意味	147		

翻訳Q&A

1. 翻訳学習のコツ

Question:

初めて翻訳を学んでいるのですが、学習方法のコツがうまくつかめず苦戦しています。効率的な学習方法をアドバイスして頂けたら幸いです。

Answer:

翻訳を初めて学ぶときには、なるべく時間をかけて、じっくり調べることをおすすめします。これは、どうしても必要なステップといえます。こういう努力と時間は将来確実に力になってきます。逆に速度をあげるためにいい加減に調べても本当の実力はつきません。ある程度実力がついてきたら、翻訳の速度はそれにつれて速くなります。自分なりに工夫して表現や用語を整理しますと、英語の文体がはっきり理解でき、応用もきくようになります。

一般に翻訳能力は、訳した量、読んだ量に比例してアップします。したがって、効率的な学習方法はなく、地道な努力に比例して確実に翻訳能力が向上します。

2. 和訳のコツ

Question:

英語を読んで理解することは大体できるのですが、適切な日本語を探すのにかなり時間がかかったり、見つけられないことも多いです。和訳をするための日本語を磨くためにはどのような勉強をすればよいのでしょうか。

Answer:

翻訳を学ぶことは、日本語と英語の両方の文体を学ぶことでもあります。このためには読書がきわめて大切です。なるべく時間を見つけて英文および日本語を読むことによって表現力が養われます。新聞なら経済記事や技術情報記事をよく読み、気になる表現や用語を抜き書きすると語彙が豊かになってきます。また、家電やパソコンのカタログや取扱説明書などには洗練された表現がたくさんあります。これらを参照することによって和訳が楽になり、また翻訳の品質も向上します。

翻訳Q&A

3. 中黒(・)の使い方(カタカナ表示)

Question:

カタカナの言葉がたくさん出てきます。中黒をつけるかどうかの指針を教えてください。(たとえば、ディスク・ファースト・エイドとディスクファーストエイド)

Answer:

中黒は、外国語の名前やワードの区切りに使います。文章が長い場合など、中黒をつけると読者が読みやすくなります。

メーカーによってはカタカナの表現基準を設けている場合があります。翻訳者も、いずれにしても、一つの翻訳文書では一貫したカタカナ表現が求められます。一般には、認知度の低い専門用語には中黒をつけて、わかり易く表示し、認知度が上がるにつれ中黒を省く傾向があります。

4. カタカナの使い方(1)

Question:

capsとplugsという言葉があります。辞書をひくと、それぞれにcapではおおい、キャップ、plugでは栓、プラグというように、日本語になっている訳とカタカナの訳が両方のついています。何か、こうした時の訳語の選び方にアドバイスがあれば教えてください。イメージがわからないときはカタカナのままにした方が無難でしょうか。

Answer:

技術用語は、専門分野や、業界によってカタカナ表示が異なります。迷った場合にはインターネットの利用をおすすめします。capやplugの場合、機械メーカーや電気メーカーのホームページでカタカナを使用しているか調べたり、あるいはGoogleなど検索エンジンでキャップやプラグで検索すると、カタカナを使うべきかどうか判断できます。自信がないときにはカタカナを使用するのが賢明です。一般に、カタカナがすでに日本語として定着している場合は、カタカナを使用します。また、最新の技術用語など日本にはない技術の場合には、カタカナを使用した方が読者(ほとんど専門家)にはよく理解されます。

5. カタカナの使い方 (2)

Question:

英単語をそのままカタカナの日本語で表すのに、どこまで表せばいいかよくわかりません。目安などありますか。日々の経験によるしかないのでしょうか。

Answer:

項目4を参照してください。カタカナ使用の目安については、つぎのように考えてください。

まず、英文がだれを対象に書かれているかを考えてください。一般ユーザか、業界/専門家（技術者、研究者など）かでカタカナの使い方が変わってきます。

1. カタカナがすでに日本語として定着している場合は、カタカナを使用します。たとえば、商品カタログを例にとると、userは「ユーザ」とした方が「使用者」より自然です。これに対して、consumerは読者対象により「消費者」か「コンシューマ」を使い分けます。

2. 英語に相応する日本語あるいは相応する技術や概念が日本語にない場合、カタカナを使用したほうが読者にはよく理解されます。たとえば「バイオ」、「プログラム」、「ソフトウェア」など。

3. 広告業界やカタカナビジネス（ファッション、衣類関連）では、カタカナの使用が好まれます。

6. ビジネスライティングでは“I”か“We”のどちらを使うべきですか。

Question:

In the case of business writing, which one is preferred, "I" or "we"?

Answer:

In business writing, use "we" if you are writing as a representative of the company and the reader and you are not familiar with each other (i.e. letters to customers). Use "I" if you and the person you are writing to have previously worked together and you are writing to accomplish something related to your individual job at the company (i.e. letters to colleagues).

翻訳Q&A

7. 「当社」の訳し方(1)

Question:

"当社"の訳について。"we"という訳は可能ですか。

Answer:

weは当社という意味でよく使用されます（項目6参照）。

次の文では社員（我々）を表わします。

We at NTT are....

8. 「当社」の訳し方(2)

Question:

"we"や"our"を訳すとき、「当社」、「私たち」、「私ども」と色々使ってしまいましたが、統一したほうがいいのですか。

Answer:

統一した方が良いです。訳は「当社」にします。親近感を出すときには、「私たち」「私ども」を使用します。

ビジネスライティングやテクニカルライティングでは表現の一貫性は重要です。

9. 「当社製品」の訳し方

Question:

「当社製品」はour productかyour productか迷いました。買った以上、カスタマーのもの(your)という気がしますし、"当社代理店"の訳がyour authorized dealerとなる理由も含め、ご説明ください。

Answer:

This can be confusing because when the consumer is reading this information, they have purchased the product and it belongs to them so it should be "your product" (meaning "the consumer's product"). However, the consumer has many products, so in these cases, to avoid any misunderstanding, manufacturers and business write "our product" to imply "our product which you now own." This is also appropriate since the manufacturer still has responsibility for the product.

10. a の特殊な使い方

Question:

The data is a 30% over that of the previous year. a 30%の、aはどういう意味でしょうか。

Answer:

これは非常にレベルの高い"a"の使い方です。辞書によれば、「aは、通例theのつく唯一の物を表す名詞、固有名詞につけて、そのある特別の状態を表す」(ランダムハウス英和大辞典、小学館)とあります。例えば、a maximum (←the maximum) , a comparison of machine (ある視点から見た機械の比較)、a study of high-performance plants (ある科学者の独自の研究)、a Japanese which can say "no" (ノーといえる日本人 - 日本にも卓越した見識をもった人物がいる) があります。

a 30%は、文脈から30%が特定の意味(例えば目標値)を持つ場合に使用します。

たとえば、前年と比べてデータが30%向上が目標値であるときにつけます。

aをつけないときには、単なるデータを示すものと考えられます。

日本人にはマスターし難い用法ですが、海外文書ではよく見かけますので、今後英文を読むときには、気をつけて読まれるとよいでしょう。

11. 定冠詞 the の使い方 (1)

Question:

冠詞の使い方に不安を持っています。何か良いアドバイスをお願いします。

Answer:

英語を書くときに、冠詞をつけるべきか、省くべきか、あるいは定冠詞をつけるべきか不定冠詞をつけるべきかなど迷うことが多いのではないかと思います。万能な指針があればよいのですが、残念ながら、冠詞を使用にはかなり弾力性があり、Native speakerによっても、書類の性格によっても使い方が異なり、絶対的なガイドとなるものはありません。例えば、

!取扱説明書などでは、簡潔な表現をするため、定冠詞をほとんど省く場合があります。

”特許明細書の場合、かなり厳密に冠詞を使用する。名詞が最初に出てきたら不定冠詞 (aまたはan) をつけ、二度目からかなり厳密に定冠詞 (the) をつけます。

#慣用表現上、必要に応じてtheをつけます。

(例)

●The higher the speed, the more the production is achieved.

●the ability to solve a problem

冠詞の使い方は、Native speakerにとっても難しいものです。長期的には、良い英文をたくさん読んで、生きた冠詞の使い方を身につけることが一番良い方法だと思います。実際の英文ライティングにおいては、当社が発行している「英語ライティングハンドブック」を参照してください。

12. 定冠詞 the の使い方 (2)

Question:

I'm sometimes confused with the usage of article. For example, when I write 'circulated to the quality assurance department and the design department of my company', is it right to use "the"?

Answer:

The articles in English are, as you know difficult. Nouns in the singular usually need an article. If the noun is specific (e.g., "the QA department" meaning the specific QA Department of this company) then the definite article is used. If the noun is non-specific (e.g., any QA department in any company) then the indefinite article is used.